

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	上階延焼検証小委員会		主 査 名：吉岡英樹 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：萩原一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・独自モデルを組み込んだ新しい CFD ツールを作成し、上階延焼検証に応用させることで検証精度を高め、建築物の外壁開口部を介した上階延焼の発生に係る予測・抑制技術の向上を図る。 ・2017 年度： 上階延焼検証に有効な CFD モデルに関する情報収集及び基礎的オペレーション ・2018 年度： 独自モデルを組み込んだ FireFOAM ツールによる可燃性外装の燃焼に係る詳細検討 ・2019 年度： 簡易な CFD モデルを使用した上階延焼検証手法の構築 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：吉岡英樹 (国総研) 幹事：出口嘉一 (竹中工務店)、中村正寿 (大成建設)、村岡宏 (大林組)、森田武 (清水建設) 委員：大宮喜文 (東京理科大学)、野秋政希 (建築研究所)、周彪 (東京大学)、西尾悠平 (東京理科大学)、西村光太 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2017 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	無
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 上階延焼証に有効な CFD モデル、並びに上階延焼評価に関する各国の規格、試験法に関する情報収集を行った。(達成度 100%) 2. CFD モデルの 1 つである FireFOAM を用いて噴出熱気流性状に関する基礎的オペレーションを実施した。(達成度 100%) 3. 2017 年 6 月に発生したロンドン高層住宅火災に関する情報収集を行った (当初の活動計画には含まれていないが追加で実施)。
委員会活動の問題点 ・課題	1. CFD モデルによる予測範囲をどこまでにするか。(開口外部のみ予測し、区画内燃焼現象は省略する等) 2. 上階延焼の実例収集をどのように行うか (現地調査の必要性等)。